

立方体の展開図と頂点の個数 (試行力)・1

図1のように、6つの同じ大きさの正方形を組みあわせて作った立体を立方体<sup>りったい</sup>といいます。図2は4個の正方形をつないだ紙<sup>かみ</sup>ですが、ここにあと2枚正方形の紙をつなげて、折って組み立てると立方体になるようにします。

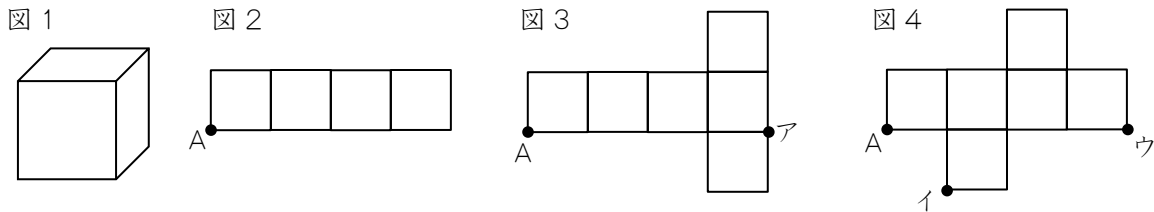
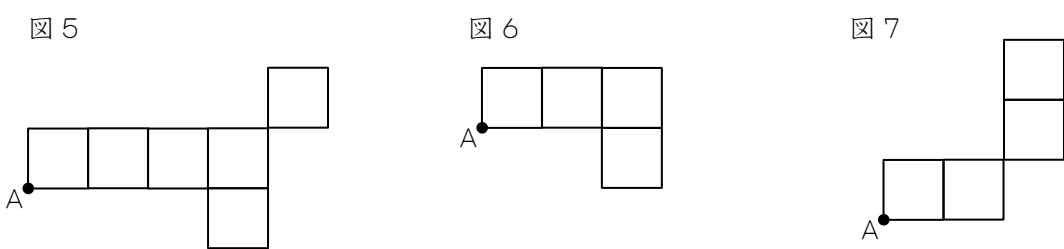


図3では組み立てたときに頂点A<sup>かき</sup>と重なるのは点ア、図4では点イと点ウの2つです。下の図5のように6枚の紙がきちんとつながっていないものは考<sup>かんが</sup>えないこととします。

(1) 図6にあと2枚正方形の紙をつなげて、折って組み立てると立方体になり、図4のように頂点Aと重なる点が2つあるようにします。2枚の正方形のつなげかたは何通りありますか。つなげる順<sup>じゅんばん</sup>番は考<sup>かんが</sup>えません。

(2) 図7にあと2枚正方形の紙をつなげて、折って組み立てると立方体になり、図4のように頂点Aと重なる点が2つあるようにします。2枚の正方形のつなげかたは何通りありますか。つなげる順<sup>じゅんばん</sup>番は考<sup>かんが</sup>えません。



受験算数の基礎

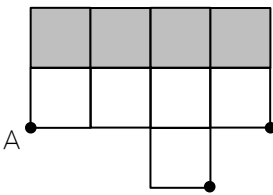
Die Grundlagen  
der Arithmetik  
für die Aufnahmeprüfung

試行力問題～子どもから大人まで～

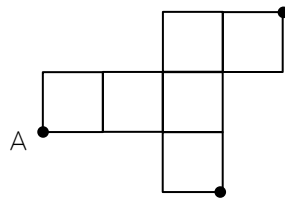
立方体の展開図と頂点の個数 (試行力)・1 (1) 6通り (2) 2通り

(1) 図①では、影をつけた4個の正方形のうちどれか1つをつなげればよいので、4通りです。図②、③を加えて、6通りです。

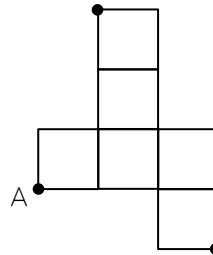
図①



図②

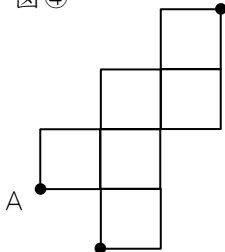


図③



(2) 図④、⑤の2通りです。

図④



図⑤

